

住人百色 ①

人と人をつなぐ絵本

童話作家 新井 悦子さん

「昔から絵本が大好きでした。17年前に子どもが生まれたことをきっかけに故郷の佐世保に戻り、童話作家の道に進みました」と話すのは、本市在住の童話作家・新井悦子さんです。

新井さんの作品は子育てのエピソードから生まれた

ものが多く、「自分の作品は親子の物語が多いと思います。子どもから受ける影響は大きいですね」と話します。童話を書くときに大切にしていることを尋ねると、「小さい子向けの絵本は、子どもがお母さんなどに読んでもらうことを考えて、耳で聞いたときに心地よく感じる言葉を使うよう心掛けています」とのこと。

新井さんは本市にまつわる物語を数多く手掛けており、その中には佐世保空襲を題材にした物語もあります。「以前から、佐世保に住んでいる作家として『佐世保空襲のことは書かなければいけない』という責任感を感じていました。戦後60年の節目のときに、その思いが形になったのが『夏の少年』という作品です。戦争体験者の方々に話を聞いたり、山手の通りを歩いたりして話を膨らませました」と新井さん。物語には2人の少年が登場します。「今の時代を生きる裕太と戦争を実際に体験した勝男という2人の少年が語り合うところを書きたかった。裕太が勝男の体験を聞いて戦争について考えたように、この作品を読んだ子どもたちにも、自分のこととして戦争や平和について考えてもらえたら」と新井さんは話します。実際に市内の小学校の平和集会や戦没者の慰霊祭など、多くの場面で『夏の少年』が朗読されています。

新井さんは、絵本が子どもたちにとって「心の遊び場」であってほしいと話します。「現実ではなかなかできないことを、絵本の中で思いっきり楽しんでほしい。それと、『あのお母さんに読んでもらったなあ』という思い出になるような、絵本を読んでもくれた人との間にある絆のような存在であってほしいですね」

(取材日 4月25日)

※『夏の少年』は市販されていませんが、市立図書館で借りることができます。



「刺し身の付け合わせの大根と大葉」
からの変身レシピ！

けんとチーズの 大葉肉巻き



材料(2人分)

千切り大根	80g	片栗粉	小さじ2
大葉	4枚	オリーブオイル	小さじ1/2
スライスチーズ	2枚	生姜焼きのたれ	大さじ1/2
豚肉スライス	2枚(80g)	水	小さじ1
顆粒コンソメ	小さじ1/3		

作り方

- 1 刺し身のけん(付け合わせ)の千切り大根と大葉を用意する
- 2 千切り大根に顆粒コンソメを混ぜる
- 3 豚肉を広げて、大葉(1枚目)、2の大根、スライスチーズ、大葉(2枚目)の順に重ねて巻く
- 4 片栗粉を3の表面に薄くまぶす
- 5 フライパンにオリーブオイルを入れて豚肉の巻き終わりを下にして並べ、ふたをして焼く
- 6 数分後にふたを取り、肉を転がしながら火を通す。生姜焼きのたれ、水を入れてからめる



考えていただいた人
山口満里奈さん
(佐世保商業高2年・当時)

●料理のワンポイント
豚肉に片栗粉をまぶすことで、外はカリカリ、中はジューシーに仕上がります

●平成28年度ヘルシークッキングコンテスト「アイデア賞」
※このコーナーでは料理の残り物や市販の既製品・総菜にと工夫した変身レシピを紹介しています。

お便り

市民の方から寄せられた市政への質問などに回答します。

質問 町内会とはどのような組織ですか？どのような活動をしているのか教えてください。

回答 町内会とは市民の皆さんが住んでいる地域の最も身近な組織として、地域のつながりによって作られた任意の団体です。「町内会」「自治会」「公民館」「区」などの呼び方があり、現在市内では610の自治組織が活動しています。

町内会では、地域住民の皆さんが、安全・安心で、明るく、気持ちよく暮らすことができるよう、地域の実情に応じてさまざまな活動が行われています。防犯灯やゴミステーションの管理、広報させばなどの配布のほか、登下校時の子どもの見守りや防犯パトロールなども町内会が行っています。

少子高齢化や核家族化が進み、地域に暮らす皆

さんの生活スタイルの変化などで町内会への加入者が年々減少していますが、町内会に加入し、地域の皆さんと顔見知りになっておくことは犯罪や災害から身を守るときにも大切です。近年の東日本大震災や熊本地震でも明らかになったように、いざというときに頼りになるのは、住んでいる地域や町内会のご近所付き合いとも言われています。ぜひ、お住いの地域の町内会に加入し、地域活動への参加をお願いします。地域づくりの主役はその地域に住む皆さんです。みんなで明るく安全・安心な住みやすい地域づくりを進めていきましょう。

☎コミュニティ・協働推進課 ☎24-1111

広報クイズ

問題の○に当てはまる文字等をお答えください。ヒントは紙面の中にあります。

問題1

28年度からは北松浦郡小値賀町との広域観光圏の取り組みに伴い、「『○○の国』観光マイスター検定試験」に名称・内容を新たに実施しています。

問題2

「○○○○させば」とは、本年4月から新たにできた妊産婦さん専用の相談窓口です。

問題3

市役所には、市民の皆さんが抱えている悩み事や困り事などの相談に応じる「市民○○室」があります。

「広報させば」満足度アンケート

次の①～④のうち、当てはまる番号をお答えください。
①大変良い ②良い ③不満 ④大変不満

6月号プレゼント
SASEBO クルーズバス「海風」
乗車券(ペア)を5組に!



特集で紹介したゴールドマイスターのガイドさんが活躍しているSASEBOクルーズバス「海風」。今回はこの海風の乗車券をペア5組にプレゼントします。観光都市佐世保の魅力を満喫してみませんか。

☎佐世保観光コンベンション協会 ☎22-6630

応募方法

「はがき」または「Eメール」に、①クイズの答え②「広報させば」満足度アンケートの該当番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号⑦広報紙へのご意見を書いて、6月22日(木)までに(消印有効)広報係へ。※応募は1人1通、全問正解者の中から抽選します。発表は発送(7月中旬)をもって代えさせていただきます。
5月号の答え ①グローバル ②手続き ③データ 4月号の応募状況 166通(正解165・不正解1)

宛て先 はがき 〒857-8585(住所不要) 佐世保市役所秘書課広報係宛て
Eメール hishok@city.sasebo.lg.jp(携帯電話からも可)